

NEWSLETTER No.80 ISSN 1340-5578  
TŌYŌ ONGAKU GAKKAI KAIHŌ  
The Society for Research in Asiatic Music Sep 25, 2010

社団法人 東洋音楽学会 会報 第80号

発行 (社)東洋音楽学会  
事務所 〒110-0005 東京都台東区上野3-6-3 三春ビル307号 TEL/FAX 03-3832-5152  
E-mail : LEN03210@nifty.com ホームページ : <http://wwwsoc.nii.ac.jp/tog/>

## 目次

第41回 通常総会のお知らせ	1	東日本支部からのお知らせ	4
総会への出席と書面議決書提出のお願い	1	会員異動	5
第61回 大会のご案内	2	図書・資料等の受贈	6
第28回 田邊尚雄賞アンケートのお願い	2	新刊書籍	6
会費納入のお願い、会費割引のお知らせほか	3	新発売視聴覚資料	7
『東洋音楽研究』原稿募集のお知らせ	3	編集後記	8
ICTM(国際伝統音楽学会)に関するお知らせ	3		

## 第41回 通常総会のお知らせ

2010年9月1日

社団法人東洋音楽学会 会員各位

社団法人東洋音楽学会 会長 金城 厚

第41回通常総会招集状

社団法人東洋音楽学会定款第23条及び第26条の定めに基づき、第41回通常総会を下記の通り開催いたしますので、正会員はご出席下さい。

記

日時 2010年11月13日(土) 17時10分～18時20分

場所 東京学芸大学 芸術館 学芸の森ホール

審議事項

第1号議案 役員選任の件

第2号議案 2009年度事業報告の件

第3号議案 2009年度収支決算の件

第4号議案 2010年8月31日現在財産目録および  
貸借対照表の件

第5号議案 2010年8月31日現在会員異動状況の件

第6号議案 2010年度事業計画の件

第7号議案 2010年度収支予算の件

第8号議案 その他

・総会に出席できない正会員の方は、昨年度より文部科学省の指導により、従来の「委任状」ではなく、「書面議決書」の提出をお願いしています。詳しくは、別項「総会への出席と書面議決書提出のお願い」をご熟読ください。

・上記以外の議案を提出なさりたい方は、あらかじめ事務局にご連絡ください。

## 総会への出席と書面議決書提出のお願い

正会員のみならず、総会への出席は社団法人の会員の権利であり、責務でもあります。総会の成立には、会員の3分の1以上の出席が必要です。何卒ご協力くださいますようお願い申し上げます。

総会に欠席する場合、定足数として出席とみなされるためには、「書面議決書」の提出が必要です(「委任状」は廃止されました)。書面議決書とは、議案への賛否をあらかじめ表明する文書です。議案書は、10月末までに学会のホームページに掲載されます。

理事会では、10月末までに書面議決書を電子メールにて配信しますので、欠席する会員は、個々の議案への賛否を記入して返信してください。配信先は、学会に届けてある(会員名簿に掲載の)アドレスです。変更した人は必ずお知らせください。

インターネットを使わない会員には、11月はじめに郵送で議案書をお届けしますので、それに同封する「書面議決書」に賛否を記入して返送してください。

電子メールを使用するか、郵送を希望するかは、大会プログラムといっしょに届けられる「大会参加申込みハガキ」に希望を記入する欄がありますので、それにてお知らせください。

## 第61回 大会のご案内

東洋音楽学会第61回大会を、同封のプログラムの通り、東京学芸大学(小金井キャンパス)において開催します。

第1日(11月13日)は、仏教音楽をテーマに、日中の当該分野における第一人者である佐藤道子氏、袁静芳氏の講演、日蓮宗声明師会による公演を予定しています。日蓮宗は鎌倉時代に日蓮によって開かれた800年近い歴史を有する宗派ですが、その声明や法要はこれまでほとんど紹介されることがありませんでした。今回は、早水日秀氏の解説で、基本をなす声明曲の演唱および日常の法要(勤行)の再現を行っていただきます。また午前中には、ブレ企画として中国人2名、日本人1名による仏教音楽に関するセッションもあります。

第2日(11月14日)は、今回の大会テーマ「東洋・アジア音楽の姿(すがた)と心(こころ)と働(はたら)き」に呼応したもの、各人の自由な問題設定によるものなど、多彩な内容からなる研究発表合計31本が行われます。今回はじめて募集した映像発表(3本)は、映像の部屋において終日ループで上映します。会員の皆さま多数のご参加をお待ちしています。

### ◎出欠の回答

同封の返信はがきの各欄にもれなくご記入の上、10月22日(金)必着でご返送下さい。やむを得ず総会に出席できない方は、返信はがきの下欄の総会議案書に対する意思表示の方法(メールまたははがき)を選択記入して下さい。

### ◎大会参加費、懇親会費、昼食代の納入

必ず同封の振込用紙にて、10月22日(金)までに、ご入金下さい。払い込みの金額は次の通りです。

### 大会参加費

正会員 1000円(学生会員も同じ)

懇親会費 4000円(学生会員2000円)

第1日、第2日の昼食代(お弁当とお茶) 各800円

※大会参加費は当日支払いの場合、1500円になりますのでご注意ください。

\*同封の振込用紙は大会専用のものですので、学会費の納入にはお使いにならないようにお願いします。

\*大会第1日、第2日も、ご予約をいただいた方へ、昼食用のお弁当(お茶付き)の販売を行います。会場の近くには飲食店がありませんので、昼食の予約をお勧めします。予約した方以外への当日の販売は行いませんので、ご了承下さい。

\*会場に駐車はできませんので、お車でのお越しはご遠慮下さい。

\*大会実行委員会では宿泊所の斡旋は行いません。

\*プログラムの再配布はありませんので、当日は、同封のプログラムを忘れずにご持参下さい。

(第61回大会実行委員会)

## 第28回 田邊尚雄賞アンケートのお願い

### ◇アンケートのお願い

第28回田邊尚雄賞は、下記の要領で選考・授与されます。その選考対象となる会員の業績について、皆様からの情報を募集いたします。自薦他薦を問いませんので、会員各位の積極的なご協力をお願いいたします。

対象期間:2010(平成22)年1月1日~12月31日。

アンケート締切:2011(平成23)年2月8日(火)必着。

対象期間中も随時受け付けます。

アンケート記入事項:著者名、著書名、発行年月日、発行所名。

なお、論文の場合は、以上のほか、掲載誌名、巻次、編集者名、論文頁数を記入してください。

選考委員:大谷紀美子、茂手木潔子、井口淳子(以上継続)、  
薦田治子、高松晃子(以上新規)

アンケート送り先:〒110-0005 東京都台東区上野3-6-3

三春ビル 307号

(社)東洋音楽学会第28回田邊尚雄賞選考委員会

## 会費納入のお願い、 大学院生・研究生会費 割引のお知らせほか

### ◇会費納入のお願い

2010年度の会費請求書と振替用紙を別便で郵送いたします。また2008年度分、2009年度分を未納の方にも、請求書を発送済みです。請求書の金額をお確かめの上お払い込みください。なお、本誌と行き違いに納入された場合は、どうぞご容赦ください。

### ◇大学院生・研究生の会費減額措置

大学院生・研究生は、所定の手続きにより会費の減額を受けることができます。今年は過ぎてしまいましたが、該当される方は毎年7月31日までに、以下の書類を学会事務局にご提出ください。

1)大学院生:申込用紙(「大学院生会費減額措置願ひ」と学生証のコピー) 2)研究生:申込用紙(「研究生会費減額措置願ひ」と学生証のコピー、履歴書(書式自由)申し込み用紙は学会のHPからダウンロードするか、学会事務局にご請求ください。ただし次の点にご注意ください。

- ・1回の申請はその年度に限り有効です。年度を越えて減額措置を希望する場合は改めて「減額措置願ひ」をご提出ください。
- ・複数年度の会費を前納することはお控えください。
- ・年度をさかのぼっての申請はできません。
- ・研究生は理事会の承認を得た場合に限り会費減額が可能です。

### ◇各種発表・論文投稿資格と会費納入の関連について

本学会では、卒論・修論発表、例会・大会発表、機関誌への投稿は、当該年度までの年会費を支払った会員のみが有する権利とみなされます。会員各位は、発表申込、投稿時に会費納入の有無をご確認ください。

卒論・修論発表者は、発表した時点でその年度の会員として登録されますので、退会届を提出しない限り、継続的に年会費を支払う義務が生じます。その旨ご了解のうえ、会費の納入にご協力ください。

## 『東洋音楽研究』原稿募集のお知らせ

学会機関誌『東洋音楽研究』第76号(2011年8月刊行予定)の原稿を募集します。

投稿を希望される方は、本誌最新号に掲載した「投稿規定」および学会ホームページに掲載している「投稿の手引き」をよくお読みの上、ご投稿ください(学会ホームページをご覧になれない場合、

機関誌編集委員会にご請求ください)。

原稿の送付先:学会事務局(「機関誌投稿在中」と明記)

送付方法:プリントアウトした原稿を送付すること。ただし、書留郵便にはしないこと。(直接持参、または、メール添付では受け付けません。)

締め切り:2010年12月10日(金)必着

出版された著書や視聴覚資料を、学会あるいは機関誌編集委員会に1部寄贈いただけませんか。寄贈いただいた書物は、編集委員会で回覧し、書評対象本として前向きに検討させていただくこととなります。どうぞよろしくお願ひします。(機関誌編集委員会)

## 平成22年度 ICTM(国際伝統音楽学会)に関するお知らせ

### 1. 第41回 ICTM 世界大会開催について

日程 2011年7月13日～19日

場所 ニューファンドランド・メモリアル大学

Memorial University of Newfoundland カナダ

大会テーマ

1. Indigenous Modernities
2. Cross-cultural Approaches to the Study of the Voice
3. Rethinking Ethnomusicology through the Gaze of Movement
4. Atlantic Roots/Routes
5. Dialogical Knowledge Production and Representation: Implications and Ethics
6. Acoustic Ecology
7. New Research

2011年は、隔年で行われるICTM世界大会の開催年です。第41回を迎える次回の大会は、カナダのニューファンドランド・ラブラドル州の州都、セントジョンズ市に位置するニューファンドランド・メモリアル大学で行われます。当大学は、カナダの大西洋岸地域最大の大学として100以上のプログラムを提供し、口述歴史と民俗学に関するカナダ最大のアーカイブ、Folklore and Language Archiveを有しています。セントジョンズはニューファンドランド島の東に位置し、かつては漁港として栄えた港町です。世界一霧の深い街としても知られる当地は、Festival 500という国際的な合唱の祭典の開催地でもあり、2011年は、ICTM世界大会に先立つ7月3日～10日に行われることになっています。本大会の詳細は、www.mun.ca/ictmをご参照ください。(ICTM担当委員 早稲田みな子)

## 2. ICTM 東南アジア芸能研究会 第1回シンポジウムに

### ついて

ICTM 東南アジア芸能研究会 Study Group on Performing Arts of Southeast Asia が発足し、6月10日～13日の4日間、第1回のシンポジウムがシンガポールのリパブリック・ポリテクニク Republic Polytechnic で開催されました。Hybridity, Pencak Silat(東南アジアの伝統武術), Archiving, New Research の、4つのテーマに基づく40件ほどの論文発表が行われました。シンガポール、マレーシア、インドネシア、フィリピン、タイ、アメリカ、ドイツ、オーストラリア、イギリスといった国々から多くの参加者があり、活気あふれる議論が展開しました。特にシラットに関するシンポジウムは、インドネシア、マレーシア、タイにまたがってこの武術と芸能の関係を論じた非常に内容の濃いもので、東南アジア芸能研究会ならではの独自の企画だったと思います。また国際大会に比べ、東南アジア在住の研究者の参加が多く、研究発表以外にもビデオ上映、シラットやクランタン音楽の実演など多彩な催しを通して、アカデミックな議論以外にも親睦を深め、研究者同士が交流する有意義な機会でした。本シンポジウムの成果は論文集として2011年を目標に刊行予定です。また、研究会は今後も隔年(ICTMの世界大会と交互になるように設定)開催予定です。この研究会への参加申し込み、お問い合わせは研究会代表の Patricia Matusky までお願いいたします。メールアドレスは pmatusky@gmail.com です。

(ICTM 東南アジア芸能研究会 会員 増野亜子)

## 3. ICTM 地中海文化圏音楽人類学研究会 マルタ大会報告

地中海文化圏音楽人類学研究会 ICTM Study Group for Anthropology of Music in Mediterranean Cultures の第8回研究会は2010年7月1日から3日までマルタ共和国で開催されました。会場はマルタ大学地中海研究所 University of Malta, Mediterranean Institute で、アメリカ合衆国、英国、マルタ、イタリア、ドイツ、イスラエル、ギリシャ、トルコなどから20名ほどの研究者が参加しました。

今回の研究会のテーマは Musical Translations across the Mediterranean に設定され、フィリップ・ボールマン氏による基調講演の後、各研究者の専門地域・分野における個別研究が発表されました。研究対象地域や民族に若干の偏りは見られたものの、translation という多様な動態を含む言葉がキーワードとして設定されていたため、様々な角度からのアプローチが

行われ、結果として多岐に渡る興味深い視点と調査結果が報告されていたと感じました。

今回は2012年に開催する予定です(日程・開催国未定)。この研究会への参加申し込み、お問い合わせは、研究会代表の Marcello Sorce Keller までお願いいたします。メールアドレスは mskeller@ticino.com です。

(ICTM 地中海文化圏音楽人類学研究会 会員 松本奈穂子)

## 4. ICTM 担当委員からのお願い

### 1) 一斉メールについて

東洋音楽学会員の皆様のうちICTM会員に対して、ICTM担当委員より不定期にICTMに関連するお知らせを一斉メールで送信しています。現在までに一斉メールを受信されていない方、また、現在ICTM会員でない方で、今後ICTMに関するメール連絡を希望される場合は、担当委員の早稲田みな子までお知らせください。メールアドレスは minako\_waseda@msn.com です。

### 2) ICTM 関連の情報提供について

ICTM 担当委員が ICTM 東アジア音楽研究会のメンバーであるため、同研究会に関する情報は会報、機関紙、一斉メール等で皆様に随時お知らせしていますが、他の ICTM 内の研究会については情報薄です。今回は、東南アジア芸能研究会の増野亜子さん、地中海文化圏音楽人類学研究会の松本奈穂子さんより、それぞれの研究会のご報告をいただきました。今後も、他の研究会に所属している会員の方からの情報を募集します。お寄せいただいた情報を東洋音楽学会員に発信します。ご協力、よろしく申し上げます。

(ICTM 担当委員: 早稲田みな子)

## 東日本支部からのお知らせ

東日本支部では、2月の定例研究会での研究発表を募集しております。

発表を希望される方は、発表種別(研究発表・報告等)、発表題目、要旨(800字以内)、発表希望月、氏名、所属機関、連絡先(住所、電話、Fax、E-mail)を明記の上、11月10日までに東日本支部事務局までお申し込みください。

## 会員異動

名簿記載事項の訂正・変更・追加

(2010年5月～8月、訂正箇所は下線部)

〈東日本支部地区〉

〈西日本支部地区〉

〈海外在住会員〉

◇学生会員から正会員へ(追加)

◇退会者(正会員)

◇逝去者(謹んでご冥福をお祈りいたします)

〈正会員〉

◇郵便戻り

連絡先をご存知でしたら事務局までご一報ください。

- ◆住所・所属等に変更ありましたら事務局までご連絡ください。  
(機関誌別冊会員名簿とじ込みの変更届用はがき、またはファクス、E-mail 等でも結構です)
- ◆改姓・改名のお届けには、ご希望の表記法をお書き添えください。(複数表記される場合、どちらを主な表記にするのか等)
- ◆事務局に登録はされても、公表を希望されない情報等がある場合には、その旨ご明記ください。

訃報

本学会名誉会員の田邊秀雄氏が9月15日に97歳で逝去されました。父、田邊尚雄氏と同じく音楽研究に従事され、東海大教授、義太夫協会、日本民謡文化協会、日本民俗音楽学会の会長などを歴任されました。葬儀は9月19日に営まれました。謹んでお悔やみ申し上げます。

図書・資料等の受贈

(2010年5月～8月、到着順)

- 『楽道』5,6,7,8月号 正派邦楽会
- 『阪大音楽学報』第8号 大阪大学音楽学研究室
- 『演劇映像』第51号 早稲田大学演劇映像学会
- 『胡弓とrabeca—ソフトとしてのキリシタン起源説』  
(京都市立芸術大学日本伝統音楽研究センター研究紀要  
『日本伝統音楽研究』抜刷) 神戸愉樹美著
- 『音楽学』第55巻2号 日本音楽学会
- 『ぎふ民俗音楽』第84号 岐阜県民俗音楽学会
- 『邦楽ジャーナル』7月号 (有)邦楽ジャーナル
- 『News Letter』No.8  
早稲田大学演劇博物館グローバルCOEプログラム
- 『能楽資料センター紀要』No.21  
武蔵野大学能楽資料センター
- 『民俗芸能研究』第48号 民俗芸能学会
- 『東方學會報』No.98 (財)東方学会

新刊書籍

(ゴシック体の項目は賛助会員による刊行物)

- 『あなたの街のご当地ソング ザ・ベストテン!』  
合田道人、全音楽譜出版社、1,680円
- 『奄美民謡島唄集:大要、歌詞、五線譜、三味線譜』  
片倉輝男、南方新社、2,940円
- 『アラブの音文化:グローバル・コミュニケーションへのいざない』  
西尾哲夫、堀内正樹、スタイルノート、2,100円
- 『市川猿之助傾き一代』 光森忠勝、新潮社、1,890円
- 『インドネシア芸能への招待:音楽・舞踊・演劇の世界』  
皆川厚一、東京堂出版、1,890円
- 『唄の旅人:中山晋平』 和田登、岩波書店、2,625円
- 『江戸文人と明清楽』 中尾友香梨、汲古書院、10,500円
- 『沖縄ポピュラー音楽史』 高橋美樹、ひつじ書房、8,610円
- 『音のイリュージョン:知覚を生み出す脳の戦略』  
柏野牧夫、岩波書店、1,260円
- 『音楽宇宙論への招待』 茂木一衛、春秋社、2,625円
- 『音楽鑑賞はナマで聴け!スクールコンサートで情操力を育む』  
石場惇史、角川学芸出版、1,575円
- 『音楽好きな脳:人はなぜ音楽に夢中になるのか』  
ダニエル・J. レヴィティン、西田美緒子、白揚社、2,940円
- 『音楽表現の科学:認知心理学からのアプローチ』  
須藤貢明、杵鞭広美、アルテスパブリッシング、2,520円
- 『雅楽入門(新版)』 増本伎共子、音楽之友社、2,520円
- 『歌舞伎座物語:明治の名優と興行師たちの奮闘史』  
中川右介、PHP研究所、2,100円
- 『歌舞伎座を彩った名優たち』 犬丸治、雄山閣、3,150円
- 『歌舞伎(通説)の検証』 今尾哲也、法政大学出版局、2,625円
- 『歌舞伎登場人物事典 普及版』古井戸秀夫、白水社、8,925円
- 『歌舞伎の中の日本』松井今朝子、日本放送出版協会、1,123円
- 『歌舞伎の幕末・明治:小芝居の時代』  
佐藤かつら、ぺりかん社、7,875円
- 『歌舞伎の森』 馬場順、皆美社、1,995円
- 『観阿弥清次世阿弥元清』 野上豊一郎、書肆心水、5,775円
- 『京劇俳優の二十世紀』 章詒和、平林宣和、青弓社、3,150円
- 『狂言を継ぐ:山本東次郎家の教え』原田香織、三省堂、2,415円
- 『京都芸能と民俗の文化史』 山路興造、思文閣出版、7,875円
- 『近世芸能の胎動』 山路興造、八木書店、10,290円

- 『近代式吟詠名詞集 3』 有信堂高文社、1,785 円
- 『近代中国における音楽教育思想の成立:留日知識人と日本の唱歌』 高埜、慶應義塾大学出版会、7,140 円
- 『クラシックの音楽祭がなぜ 100 万人を集めたのか:ラ・フォル・ジュルネの奇跡』 片桐卓也、ぴあ、1,890 円
- 『現代中国文化の光芒』 中央大学人文科学研究所、中央大学出版部、4,515 円
- 『元禄上方歌舞伎復元』 田口章子、勉誠出版、2,940 円
- 『交錯する琉球と江戸の文化』 板谷徹、榕樹書林、2,940 円
- 『黒人リズム感の秘密(改訂版)』 七類誠一郎、郁朋社、2,100 円
- 『言葉をかみしめて歌いたい童謡・唱歌』 由井龍三、春秋社、1,680 円
- 『視覚表象と音楽:ジェンダー史叢書4』 池田忍、小林緑、明石書店、5,040 円
- 『仕舞入門講座』 野村四郎、檜書店、2,730 円
- 『ジャズ喫茶論:戦後の日本文化を歩く』 マイケル・モラスキー、筑摩書房、2,730 円
- 『ジャマイカ&レゲエAtoZ(増補改訂版)』 エフエム東京、1,300 円
- 『浄瑠璃・歌舞伎の舞台と上演』 鎌倉恵子、森話社、12,600 円
- 『浄瑠璃本史研究:近松・義太夫から昭和の文楽まで』 神津武男、八木書店、18,900 円
- 『初代都太夫一中の浄瑠璃:音曲に生きた元住職』 小俣喜久雄、新典社、1,050 円
- 『初代二代目中村吉右衛門の芸』 小学館、3,675 円
- 『大正琴ものがたり:大正・昭和・平成の薫りを流行歌にのせて』 北林豊北林篤、幻冬舎、1,260 円
- 『魂のフォーク・ソング大全集』 自由現代社、2,520 円
- 『團十郎復活』 市川團十郎、文藝春秋、1,550 円
- 『地拍子のすべて』 清田弘、檜書店、1,890 円
- 『チベット:聖なる音のパワー(CD付)』 テンジン・ワンギェル・リンポチュ、宇佐和通、ベストセラーズ、1,575 円
- 『中南米の音楽:歌・踊り・祝宴を生きる人々』 石橋純、東京堂出版、1,890 円
- 『童子考』 郡司正勝、白水社、3,780 円
- 『ドビュッシーに魅せられた日本人:フランス印象派音楽と近代日本』 佐野仁美、昭和堂、2,940 円
- 『日本音楽との出会い:日本音楽の歴史と理論』 月溪恒子、東京堂出版、2,310 円
- 『日本舞踊ハンドブック 改訂版』 藤田洋、三省堂、1,733 円
- 『能苑逍遥 下:能の歴史を歩く』 天野文雄、大阪大学出版会、2,205 円
- 『能楽史年表 下:近世編』 鈴木正人、東京堂出版、15,750 円
- 『能と狂言 8』 能楽学会、ペリかん社、2,100 円
- 『能と古注釈書』 神田裕子、笠間書院、7,560 円
- 『能ナビ』 渡辺保、マガジンハウス、3,200 円
- 『能の庭:能楽師とジュネーヴの弟子』 アルメン・ゴデール(小野暢子訳)、檜書店、2,100 円
- 『能のノリと地拍子』 藤田隆則、檜書店、11,550 円
- 『能への扉:演者が語る能のこころ』原田紀子、淡交社、1,890 円
- 『能・よみがえる情念』 馬場あき子、檜書店、2,100 円
- 『パイオニアたちを支えた人形浄瑠璃』 仁木勝治、佐藤満俊、文化書房博文社、2,415 円
- 『華の道』 加藤照子、美研インターナショナル、1,050 円
- 『東アジアの文化と琉球・沖縄:琉球/沖縄・日本・中国・越南』 上里賢一、高良倉吉、平良妙子、彩流社、3,675 円
- 『東アジアの民衆文化と祝祭空間』 鈴木正崇、慶應義塾大学出版会、2,100 円
- 『ヒマラヤ・カラコルムの音楽職能者たち:共同体との関わりに見るその機能・役割』 高橋昭弘、星雲社、2,000 円
- 『風流踊とその展開』 植木行宣、岩田書院、13,440 円
- 『文楽二十世紀後期の輝き:劇評と文楽考』 内山美樹子、早稲田大学出版部、3,675 円
- 『まるごと!民族楽器徹底ガイド』 若林忠宏、ヤマハミュージックメディア、1,575 円
- 『民衆の哀歌:ロシアの泣き歌』 中堀正洋、東洋書店、630 円
- 『吉田正』 金子勇、ミネルヴァ書房、3,150 円
- 『ラップのことば』 猪又孝、ブルース・インターアクションズ、2,500 円
- 『琉舞手帖』 大道勇、ボーダーインク、2,520 円

## 新発売視聴覚資料

(ゴシック体の項目は賛助会員による刊行物)

### ●DVD

- 『永久保存版 歌舞伎座 DVD BOOK 歌舞伎座さよなら公演 16か月全記録』

第1巻(全8巻)、松竹・小学館共同企画、26,250円

『授業で役立つ和楽器入門講座「箏」:さくらを弾きましょう』

日本伝統文化振興財団、9,450円

『泉州岸和田だんじり祭』 コロムビア、2,500円

『人形浄瑠璃文楽名演集:通し狂言 義経千本桜(vol.1~4)』

NHKエンタープライズ、各4,935円

『邦楽で綴る「平家の物語」』

東京藝術大学出版会、東京藝術大学出版会、2,940円

#### ●CD

『お水取り 東大寺修二会』 VZCG-731、3,000円

『海童普門(一朝普門) SP盤復刻 淘薩慈:海童普門/

一朝普門の尺八・法竹』 COCJ-36281、3,000円

『歌舞伎の囃子』 VZCG-719、3,000円

『経 日常のおつとめ「般若心経・観音経」(DVD付)』

PCCG-01037、2,800円

『経 日常のおつとめ「真宗 正信偈・阿弥陀経」(DVD付)』

PCCG-01038、2,800円

『小唄まるかじり(2枚組)』 VZCG-8444~8445、3,000円

『箏・三弦 古典/現代名曲集(二十一)』

中島靖子、正派邦楽会、VZCG-739、2,800円

『女流義太夫三味線』 VZCF-1024、3,150円

『鶴澤清治 一撥一心』 COCJ-36278、2,500円

『東京楽所/奈良遷都千三百年 大和朝廷の音楽』

COCJ-36008、3,000円

『日本の音楽・楽器 コロムビア100周年記念

伝統音楽のすすめ:名人演奏と共に』 各3,000円

<雅楽> COCJ-36311~2

<声明・能楽・箏曲・地歌> COCJ-36313~4

<義太夫・胡弓・長唄・常磐津> COCJ-36315~6

<清元・新内・琵琶・端唄> COCJ-36317~8

<尺八・明清楽・大和楽・現代曲> COCJ-36319~20

『藤原道山 天-ten-』 COZQ-431~2、3,000円

『ふる里の民踊 第50集(1~5)』 COCF-16381~16385、1,050円

『宮城道雄合奏曲集成(5枚組)』VZCG-8446~8450、15,750円

『宮城道雄名曲選集』 VZCG-8437、5,000円

『森田圭一の民謡採集手帖:完結編』 VZCG-738、2,500円

## 編集後記

◇本号は、11月に行われる第61回大会プログラムとともにお届けします。会報にも大会へのご案内がありますが、多くの皆様のご参加をお待ちしております。

◇3~5頁に掲載されています ICTM 関連の記事には、ICTM 関連の東南アジア芸能研究会と地中海文化圏音楽人類学研究会における活動の報告が含まれています。お忙しい中、原稿をお寄せくださった会員に御礼申し上げます。

今後も、本学会会員にかかわる催しなどの情報を積極的に お寄せくださるよう、お願いいたします。

◇本号の校了後に名誉会員の田邊彦雄氏逝去の一報がありました。そのため、「訃報」の扱いが少し短く、掲載箇所も通常と異なっております。 (横井)

会報編集委員

理事:高桑いづみ、横井雅子

参事:荻野珠、重田絵美、柴田真希、星野厚子、

柳澤久美子、山口かおり